



AUTODESK®
BUILDING DESIGN SUITE
2015

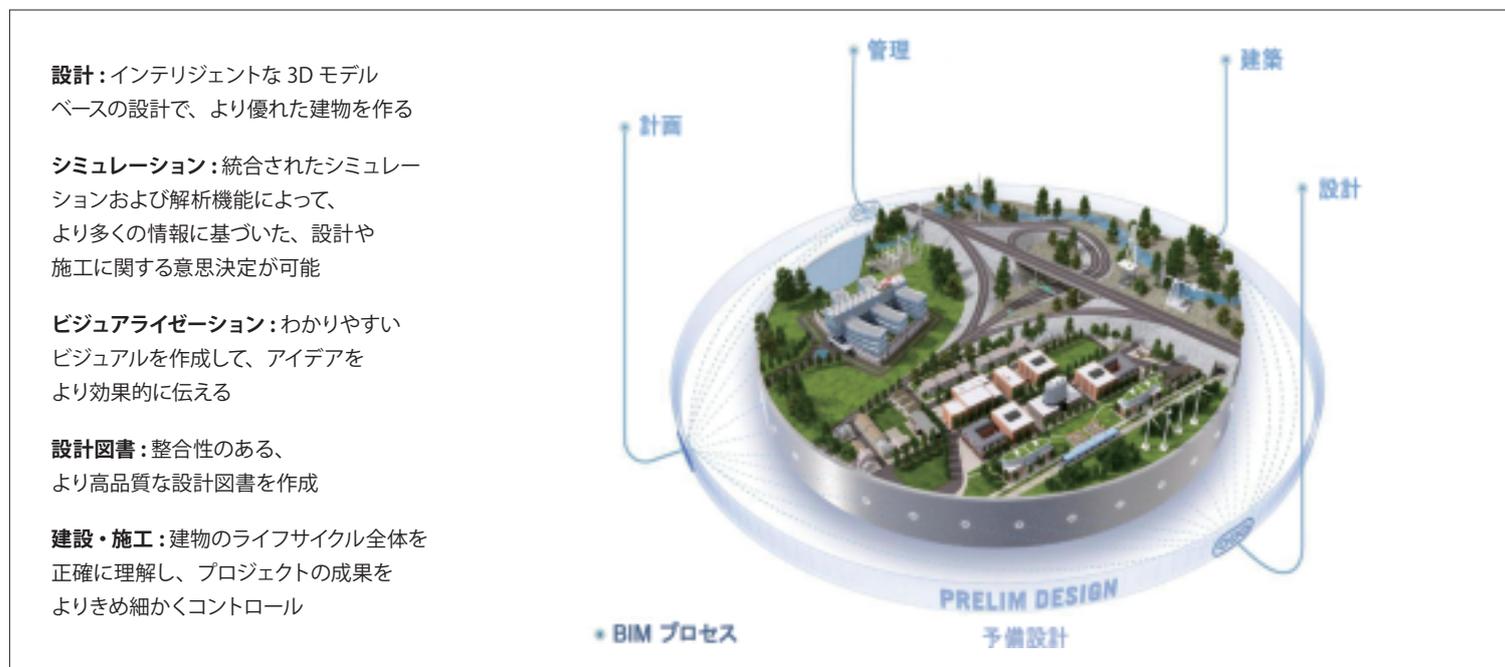
ULTIMATE
PREMIUM
STANDARD

設計、施工そしてファシリティーマネージメントまで
建設 BIM ワークフロー全体をサポートする総合ソリューション



優れた価値と競争優位を実現

Autodesk Building Design Suite は、より効果的な設計やコミュニケーションを実現する総合的な BIM ソリューションです。



様々なビジネス ニーズに対応できるように 3 種類の Autodesk Building Design Suite エディションを用意しております。オートデスクの豊富な製品群から、必要に応じたスイート製品をご選択ください。

Autodesk® Building Design Suite Standard:

DWG™ ファイル形式で効率的に設計、設計図書作成、図面の共有を行える、建築設計者、作図者、詳細設計者向けの基本ツール セットです。

- 設計、設計図書の作成、DWG 図面の共有
- 建築業界用に作成された AutoCAD® 各バージョンの活用
- 設計イラストやグラフィックスによるコミュニケーション ツールを利用した、アイデアのより効果的な表現

Autodesk® Building Design Suite Premium:

Autodesk® Revit® 製品による BIM のパワー、使い慣れた AutoCAD® での効率的な設計図書作成、Autodesk® 3ds Max® Design での魅力的なビジュアライゼーションのために最適なツールセットを提供する、設計者とエンジニア向けのソリューションです。

- インテリジェントな 3D モデルベースの設計を活用して、より良い建物の設計と建設・施工を推進
- 分かりやすいビジュアルを作成して、アイデアを効果的にプレゼンテーション
- 統合された解析機能を使用して、より多くの情報に基づく、設計、建設・施工での意思決定を実現

Autodesk® Building Design Suite Ultimate:

設計から建設・施工までの段階に対応する高度なツールセットで、BIM の全パワーを提供します。建築プロフェッショナル向けの本製品には、Premium エディションに加えて、専門分野間の連携を総合的に実現する Autodesk® Navisworks® Manage、建材メーカーや製造業者とのより効率的なコラボレーションを支援する Autodesk® Inventor®、迅速な意思決定のための 3D を使ったインフラモデルの作成、検証および提案が行える Autodesk® InfraWorks® などが含まれます。

Autodesk Building Design Suite は、以下の方法で役立ちます。

- BIM ソフトウェアとインテリジェントな 3D モデルを利用して、より優れた建物の建設を推進します。
- 統合された解析機能を使用して設計・施工での意思決定を行うことができます。
- 魅力的なビジュアライゼーションやワークスルーを使用してアイデアをより効果的に提案します。
- 整合性のある、より高品質な設計図書や現況モデルを作成します。
- プロジェクト スケジュールを短期化して、コストを削減します。
- 建物のライフサイクル全体を正確に理解し、プロジェクトの成果をよりきめ細かく制御します。

Autodesk® Building Design Suite に含まれるソフトウェア

AutoCAD® は、設計と設計図書の作成に特化した業界標準の 2D および 3D CAD ツールです。

AutoCAD® Architecture、**AutoCAD® MEP (英語版)**、**AutoCAD® Structural Detailing (英語版)** は、信頼性の高い、代表的な DWG テクノロジーを使用して、効果的なデザイン、設計図書作成、図面の共有を実現します。

Autodesk® Showcase® は、デジタル モデルからフォトリアルな画像やリアルかつインタラクティブなプレゼンテーションを作成し、設計の提案やプレゼンテーションを支援します。

Autodesk® SketchBook® Designer は、設計イラストやグラフィックスによるコミュニケーションに最適なツールです。

AutoCAD® Raster Design は、ラスター イメージ、ラスターデータ、ベクターデータの修正・編集、地図、航空写真、衛星写真、DEM (数値標高モデル) を有効利用できます。

Autodesk® Autodesk® 3ds Max® Design は、設計コンセプトの迅速な検証、正確な照度及び輝度分析の他、より高度で、効果的なレンダリング・アニメーションを高速で実現し、ビジュアル面での強力な資料を作成することが出来ます。

コスト効率の高い BIM の導入

スイートに含まれるソフトウェア	ULTIMATE	PREMIUM	STANDARD
AutoCAD® 2015	✓	✓	✓
AutoCAD® Architecture 2015	✓	✓	✓
AutoCAD® MEP 2015 (英語)	✓	✓	✓
AutoCAD® Structural Detailing 2015 (英語)	✓	✓	✓
Autodesk® Showcase® 2015	✓	✓	✓
AutoCAD® Raster Design 2015	✓	✓	✓
Autodesk® ReCap™	✓	✓	✓
Autodesk® Revit® 2015	✓	✓	✓
Autodesk® 3ds Max Design 2015	✓	✓	✓
Autodesk® Navisworks® Simulate 2015		✓	
Autodesk® Navisworks® Manage 2015	✓		
Autodesk® Inventor® 2015	✓		
Autodesk® Robot® Structural Analysis Professional	✓		
Autodesk® InfraWorks®	✓		

Maintenance または Desktop Subscription のご契約で追加されるサービス (※)

Autodesk® 360 (25GBの追加ストレージ容量)	✓	✓	✓
Autodesk® 360 のレンダリング	✓	✓	✓
Autodesk® Green Building Studio® (英語)	✓	✓	✓
Energy Analysis for Autodesk® Revit®	✓	✓	
Structural Analysis for Revit®	✓	✓	
Optimization for Inventor®	✓		
Autodesk Remote	✓	✓	✓

Autodesk Building Design Suite は、設計・施工のあらゆる工程を高いコスト効率で管理する包括的なツールセットを提供します。

(※) Subscription のご契約 (有料) 期間のみ利用可能

Autodesk® Navisworks® Simulate は、プロジェクト レビュー ソフトウェアとして高度なスケジュール作成およびビジュアライゼーション機能によって、インテリジェントな 3D モデルベースの設計をサポートします。

Autodesk® Navisworks® Manage は、様々なファイル形式の 3D モデルを統合して、施工や改築の前に、専門分野間の連携を深め、干渉を解決し、プロジェクトをバーチャルに計画できます。

Autodesk® Revit® は、建築、構造、設備の各設計者や建築家、デザイナーのためのツールを統合した包括的なアプリケーションです。Revit® プラットフォームで広範なツール セットを利用してワークフローを合理化し、建築設計のさまざまな専門分野とのより効率的なコラボレーションを実現します。

Autodesk® Inventor® は、建材メーカーや製造業者とのコラボレーションを実現して、設計意図を正確に把握できるように支援します。

Autodesk® Robot® Structural Analysis Professional は、構造設計者に大規模で複雑な建築構造物向けの効率的で高度な解析機能を提供します。

Autodesk® InfraWorks は、都市計画案の作成、評価、コミュニケーションを支援し、関係者の合意形成を促し、意思決定に役立つ情報を提供します。

Maintenance または Desktop Subscription のご契約で追加されるサービス (※)

Autodesk® 360 は Autodesk が提供するクラウドサービスの総称で、ファイルの格納 (5GB まで無料、Subscription にご契約頂くと 25GB に増設されます)、データ共有、各種クラウドサービスへのアクセスが可能です。

Autodesk® のレンダリングは、クラウドでレンダリングを行えるサービスです。レンダリングをクラウドで行うことにより、プロジェクトに必要な時間とコストを削減でき、フォトリアリスティックで説得力のあるビジュアライゼーションを効率的に作成できます。

Autodesk® Green Building Studio® (英語) を使用すると、設計プロセスの早い段階で建物全体の解析、エネルギー効率の最適化、カーボン・ニュートラル化の評価を行うことができます。

Energy Analysis for Revit で、エネルギー消費レベルや建物のライフ サイクル コストを判断できます。

Structural Analysis for Revit® の使用により、BIM プロセスと構造解析を統合できます。解析結果を Revit ソフトウェア内で確認および視覚化できるため、ワークフローが中断されずに済みます。



Optimization for Autodesk® Inventor® で、製品の各デザイン オプションのパフォーマンスをテストできます。より高い品質の製品やサステイナブル デザインをより低コストで実現できます。

Autodesk Remote

メインで使用するコンピュータ上にインストールされたオートデスク ソフトウェアにリモートからアクセスし、他のコンピュータや iPad® から操作することができます。



Autodesk Building Design Suite Premium エディションと Ultimate エディションに含まれる Revit® は、ビルディング インフォメーション モデリング (BIM) 用に開発されており、設計から施工 (建設) まで一貫性のある 3D モデルベースのプラットフォームにより、プロジェクトのコンセプト段階のアイデアを実際の施工 (建設) まで結び付けることができます。Revit は、意匠設計、機械・電気・配管、構造エンジニアリングおよび施工 (建設) 用の機能を含む単一型のアプリケーションです。

- 意匠 : 意匠設計向けに適した機能
- 構造 : 構造設計向けに適した機能
- 設備 : 設備設計向けに適した機能
- 施工 : 施工に適した機能

● 日本のお客様からのご要望を反映させた機能

ビジュアライゼーション

アンチエイリアシングの向上 新機能

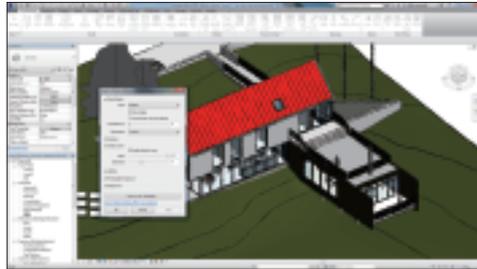
- 意匠
- 構造
- 設備
- 施工



ビューによってアンチエイリアシングをオンにしてスクリーン上の線を滑らかにできます。特定のビューのアンチエイリアシングをさらに細かくコントロールすることで、コンピュータの追加処理時間が削減され、パフォーマンスが向上します。

スケッチ線 新機能

- 意匠
- 構造
- 設備
- 施工



ボタンを押すだけで、手描きのインフォーマルなスケッチの仕上がりを実現できます。スケッチ線のグラフィックスでスケッチ線の見え方を調整するにはジッターと延長 2 つのパラメータで実行できます。このツールはすべてのビューで使用でき、スケッチ線がオンの場合に作業できます。

レイトレースの使いやすさの向上 新機能

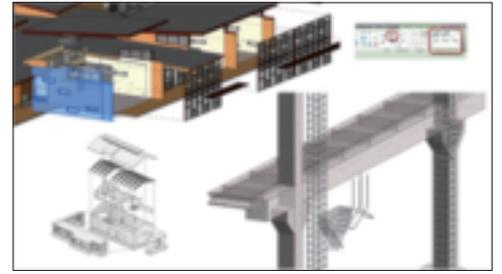
- 意匠
- 構造
- 設備
- 施工



ホワイト ノイズのない高速レンダリング。レイトレース ビュー モードで、より迅速にホワイト ノイズのないレンダリングができるようになりました。

変位ビュー

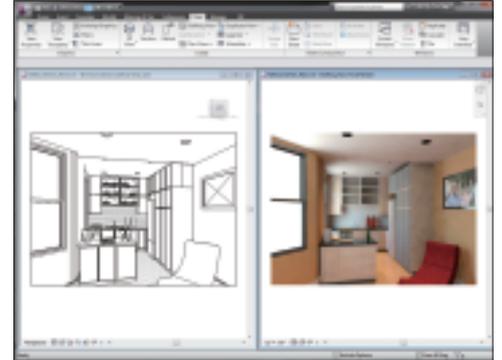
- 意匠
- 構造
- 設備
- 施工



建築設計の分解ビューを作成して、建築アセンブリをより明確に視覚化し、施工シーケンスを表示できます。分解モデルを好みのビューに設定できます。

デザイン ビジュアライゼーション

- 意匠
- 構造
- 設備
- 施工



フォトリアリスティックに近いステータスで設計アイデアをキャプチャします。mental ray レンダリングエンジンは、簡単なユーザー操作、高品質な出力、高速レンダリングで設計プレゼンテーションを向上させます。

レンダリング

- 意匠
- 構造
- 設備
- 施工



クラウドベースのレンダリングにより、デザイナー、アーキテクト、エンジニア、施工会社は、時間とプロジェクト コストを削減できます。デスクトップを占有されることなく、専用のレンダリング ハードウェアを用意する必要もなく、効果的なフォトリアリスティックに近いビジュアライゼーションの作成が可能になります。

設計

複数要素をトリム / 延長 **新機能**

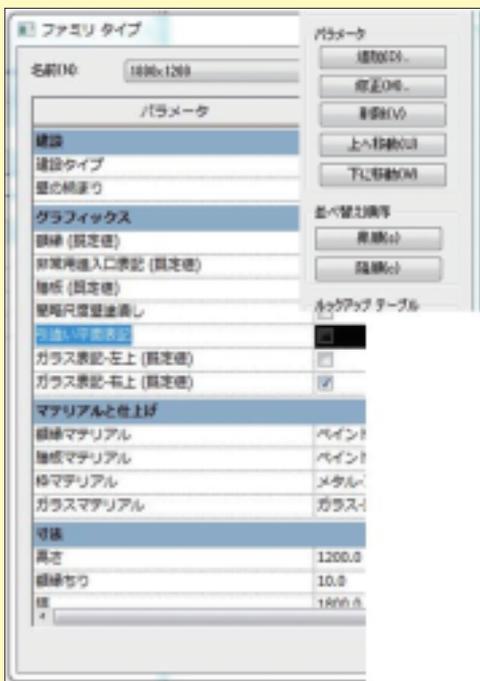
意匠 **構造** **設備** **施工**



トリム / 延長機能がアップデートされ、複数の要素のボックス選択ができるようになりました。選択ボックスを右から左に囲む場合は、選択されたボックスに要素が含まれている必要はありません。左から右に囲む場合、完全にボックスに含まれる要素のみが選択されます。このようにステップを最小化することで、生産性が向上します。

ファミリパラメータの順序調整 **新機能**

意匠 **構造** **設備** **施工**



社内標準に合わせてファミリパラメータの順序を調整できます。社内標準で、新しいファミリパラメータが、パラメータを作成する際に選択したグループ内のパラメータリストにアルファベットの昇順で追加されるようになりました。[並べ替え]ボタン(昇順および降順)を使用して、作業中のファミリのパラメータをアルファベット順に並べ替えることができます。さらに順序を修正したい場合は、パラメータを選択して、[上へ移動]または[下へ移動]ボタンでグループ内のパラメータの順序を変更します。このパラメータの順序は、ファミリがプロジェクトにロードされる際、プロパティパレット(インスタンスパラメータ)および[Typeプロパティ]ダイアログ(タイプパラメータ)に保存されます。

圧力損失の計算方法 **新機能**

設備



機械設定でハーランドの式またはコールブルックの式を使用して、ダクトおよびパイプの圧力損失を計算できます。ダクトおよびパイプの圧力損失を計算する際は、機械設定でハーランドの式またはコールブルックの式を指定します。これにより、Revit MEPは、この部分のAPIを公開したことにより、各国標準に合った方法を用いることができ、特定の力学計算の精度が向上します。

コンクリート部材の配筋 **新機能**

意匠 **構造**



コンクリート部材に配筋を追加します。壁や床などサーフェス要素から作成されたコンクリート部材にはかぶり厚があり、鉄筋、鉄筋セット、面の配筋、パス配筋、モチアミ配筋をホストすることができます。

RC断面リスト作成 **新機能** (*)

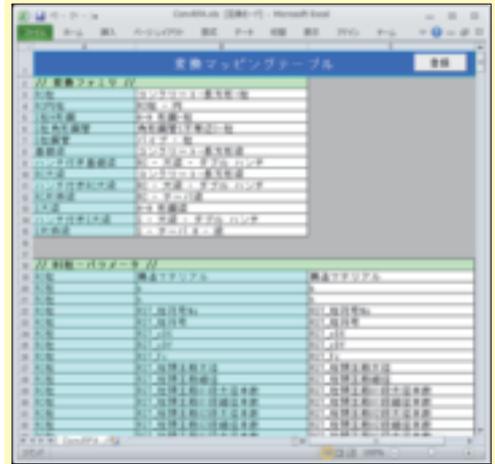
構造



柱ファミリのうちファミリカテゴリが「構造柱」、ファミリのパラメータのうちモデルのマテリアルが「コンクリート」のものについて指定の構造平面ビューにRC柱断面リストを作成します。また、梁ファミリのうちファミリカテゴリが「構造フレーム」、ファミリパラメータのうち、モデルのマテリアルが「コンクリート」について、指定の構造平面ビューにRC梁断面リストを作成します。(*)

SS3 Link **新機能** (*)

構造



Autodesk® Revit® → SS3

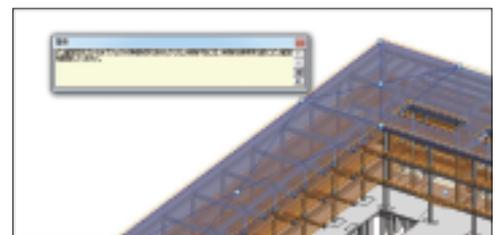
SS3へのモデル送信では、Revit2014の構造柱・構造フレーム(大梁)、小梁・床・壁・開口・プレースの全体から、SS3入力CSVデータの建物形状データ、柱部材・梁部材の定義・配置情報、小梁・床・壁・開口・プレースの定義・配置情報をSS3入力CSVファイルとして出力する機能となります。(*)

SS3 → Autodesk® Revit®

SS3からのモデル読み込みでは、SS3入力CSVデータの建物形状データ、柱部材・梁部材の定義・配置情報、小梁・床・壁・開口・プレースの定義・配置情報を読み取り、柱・大梁、小梁・床・壁・開口・プレースをRevit2014のモデルとして生成する機能となります。(*)

ピンされた要素の強化 **新機能**

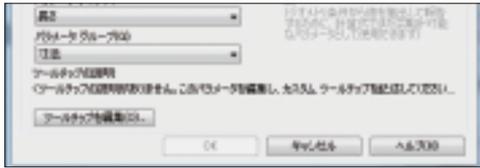
意匠 **構造** **設備** **施工**



ピンされた要素は指定しない限り、削除されません。削除する前にピンを解除する必要があります。ピンを解除することで、または拡張された警告ダイアログで削除することで、要素を削除できます。Revitでは、部品がピンされていると、[削除]を使用する前に要素のピンを解除するように指示する警告が表示されます。集計表からの削除などグラフィカルではないコンテキストではオブジェクトを削除できます。

ファミリパラメータのツールチップ 新機能

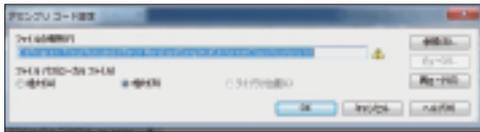
意匠 構造 設備 施工



Revit MEP のツールチップをカスタマイズすることで、習得性が向上し、パラメータとその使用方法を参照できるようになります。ユーザーが Revit MEP ツールチップをカスタマイズして、パラメータとその意図する使用方法を記述し参照することで、製品の習得性が向上しました。

アセンブリコードの設定 新機能

意匠 構造 設備 施工



アセンブリコードの設定管理の新しいダイアログで、UniformatClassifications.txt の場所をユーザーが変更できます。新しい管理ダイアログで、UniformatClassifications.txt の場所を修正することができます。アセンブリコードファイルの読み込みに問題があった場合にリロードの失敗を通知する新しい警告インジケータがあります。見つからない場合も、開いた際にアセンブリコードファイルの最後にロードされたバージョンがドキュメントにロードされます。

現況モデルの精度の定義 新機能

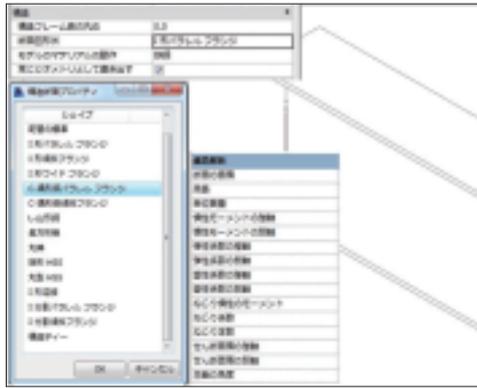
意匠 構造



新しい機能により、構造フレーム要素の的確な定義と配置が可能になりました。結合された梁の終点を別の梁や構造柱、構造壁等任意の位置への変更が行えます。以前に位置合わせした梁の端点をリセットすることができます。作図領域内の梁やブレースの終点延長やカットバックをクリックしてドラッグするのに、形状ハンドルが使用できるようになりました。フレーム要素ジオメトリを直接操作し、終点を他のジオメトリや参照線にスナップするには、形状ハンドルを使用します。[オフセット y] や [オフセット z] 位置合わせツールを使用して、フレーム要素の物理的ジオメトリを簡単にオフセットできるようになりました。パラメータ値を手動で計算してプロパティパレットに入力することなく、作図領域で直接に微調整ができるようになりました。モデリング中に、梁とブレースの位置基準を任意のビューに参照として表示します。

構造部材の断面性能 新機能

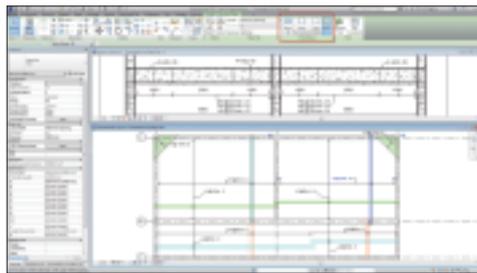
構造



一貫した明確な断面性能の定義を含んだ断面タイプで、構造フレーム要素を特定できます。構造フレームおよび構造柱ファミリに予測される特性を示すパラメータを割り当てることができます。これにより外部解析アプリケーションやコードチェックアプリケーションに信頼性の低い情報を提示できます。構造フレームファミリに [断面形状] カテゴリを適用することで、BIM ワークフロー内のデータの整合性が向上し、パラメータの一貫性を保てるようになります。

鉄筋セットの表現 新機能

構造



ホスト内で複数の鉄筋をドキュメント化し、適切なサブセットのみを表示して、見やすい配筋図面を作成できます。より正確な配筋の詳細施工図を作成することができます。鉄筋表現で、構造要素の配筋をわかりやすくシンプルに表示できます。別々のビューで鉄筋セットの異なる配筋表現を明示することで、配筋図面の作成をより柔軟に実行できます。

Autodesk Exchange

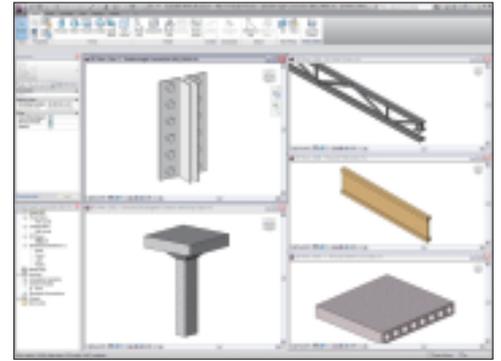
意匠 構造 設備 施工



Autodesk Exchange では、Revit の拡張機能を利用したり、拡大されたコンテンツライブラリにアクセスすることができます。Web からダウンロード（有料コンテンツの場合は購入）して、現在の Revit セッションに直接インストールできます。また、Autodesk Exchange で、Revit の大規模なコンテンツライブラリにアクセスできます。

パラメトリックコンポーネント

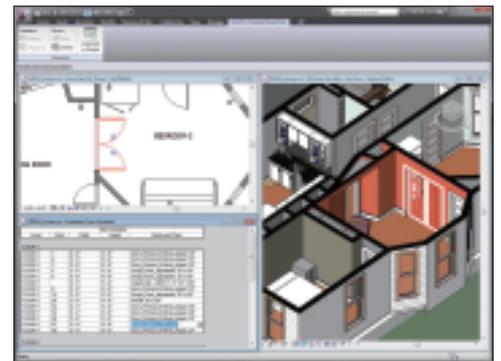
意匠 構造 設備 施工



ファミリとも呼ばれるパラメトリックコンポーネントは、Revit で設計されたすべての建物コンポーネントの基盤となります。グラフィカルなオープンシステムで設計とフォーム作成を行い、詳細化がされる過程で設計意図を表現することができます。パラメトリックコンポーネントは、キャビネットや設備機器など最も複雑なアセンブリ、また壁や柱など最も基本となる建物のパーツにも使用できます。プログラミング言語やコーディングは不要です。

双方向のやりとり

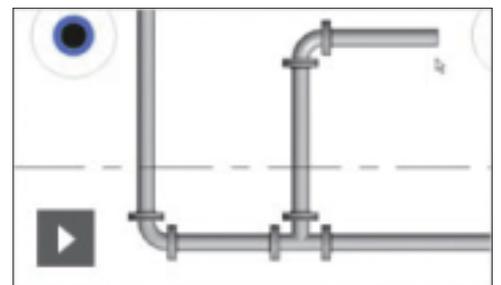
意匠 構造 設備 施工



Revit には、すべてのモデル情報が一元管理されています。変更された情報はすべて Revit モデルを通じて効果的に変更されます。

配管および電気系統コンテンツ

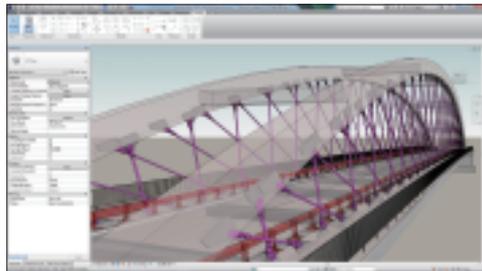
設備



通信、防火、データ、ナースコールなどさまざまなタイプの電気系統コンテンツを Revit で利用できます。電気およびデータケーブルラック、配管のモデリング機能も使用できます。ケーブルラックおよび配管は、直線状セクションの間に個別配置された状態または配置されていない状態で、複数または個別に経路付けすることができます。コントロールパネルおよび個別のコントロールまたはデバイスで、適切なパネルにオブジェクトを接続することができます。

複数材料のモデリング

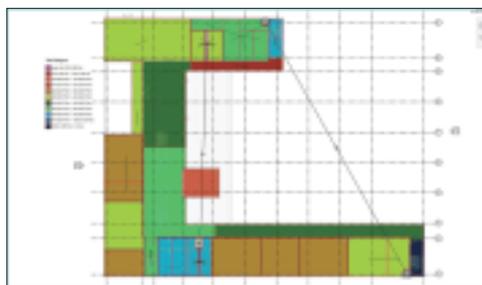
構造 施工



構造エンジニアリング向け Revit には、鋼、現場打ちコンクリート、プレキャスト コンクリート、石材、木材などの建材が含まれています。設計する建物は複数の建材で構成されているため、建築用ソフトウェア Revit では、必要な材料を使用して構造をモデル化することができます。

カラー塗り潰しの見取り図による冷暖房空調設備 / 電気設備の設計

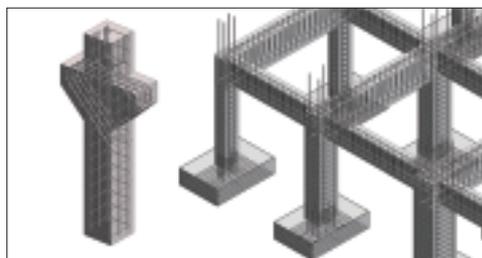
意匠 構造 設備 施工



カラー塗り潰しの見取り図で、設計意図を視覚的に伝えられます。スプレッドシートの解読作業と印刷された見取り図の色鉛筆を使用した作業を最小限にすることができます。モデル全体にわたって自動的に図面のカラー塗り潰しを実行して、すべての修正および変更を更新し、プロジェクトの期間での一貫性を維持します。ダクト作業と配管作業の 3D モデリングで、設計風量、実際の風量、機械設備ゾーンにカラー スキームを使用した冷暖房空調設備システムを作成できます。単位面積当たりの電力負荷および照明用の電気カラースキームを作成します。

構造配筋

構造 施工

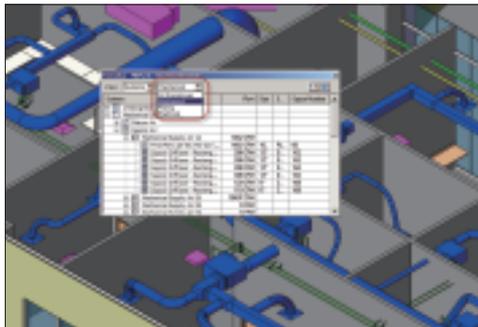


コンクリート配筋をすばやく簡単に定義および視覚化できます。配筋の定義を管理する方法および配置のコントロール:

- 多層配筋のサポート
- 一般モデルファミリの配筋ホスト化をサポート
- 自己交差する鉄筋をより正確に表示
- かぶり参照を超えたスターラップのアタッチのサポート

システム ブラウザ

設備



システム ブラウザ機能を使い、設計作業を柔軟に行えるので、関連する重要なシステムに注力することができます。作業中のシステムのみを表示することができます。たとえば、電気システムのみを表示して、機械および配管システムを非表示にすることができます。要素が完全に接続され、より正確なサイズでシステム負荷要件に対応しているかを確認できます。システム内の任意の地点で、電気負荷合計、風量またはパイプの流れを確認できます。

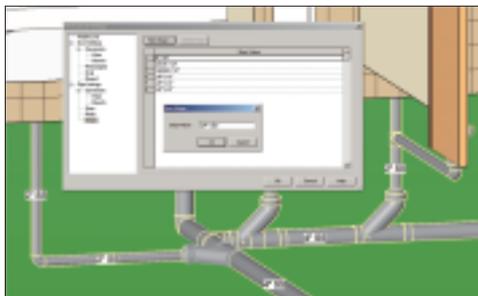
MEP (機械・電気・配管) システムの強化



カスタムのダクトおよび配管システムのタイプを作成して、名前を付けることができます。色、線の太さ、線種パターンなどグラフィックスの上書きのプロパティを特定システムのオブジェクトに利用できます。システム設備に接続しなくても、システムにオブジェクトを割り当てできます。システム省略形を使用してシステム ジオメトリに注釈を付けられます。

勾配配管

設備

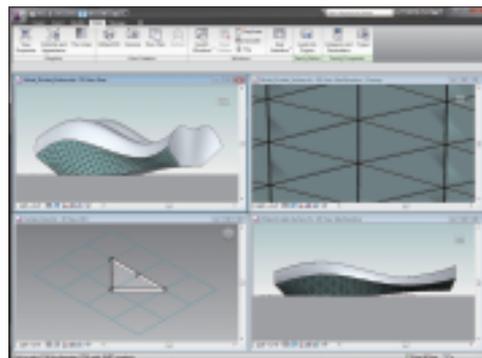


MEP エンジニアリング向け Revit では、勾配配管ツールが配管設計の生産性の向上をサポートします。作成した配管の勾配値を、プロジェクトからプロジェクトに受け渡して設計作業を効率化できます。配管の立ち上がりを定義して、配管設計に簡単にレイアウトできます。配置されている複数パイプの配管に勾配を適用する際も、自動で計算を実行し、勾配の継続も簡単です。配管の始点または終点に高さ

をタグ付けすることで、勘に頼った作業と手動計算を最小限にできます。勾配パイプを経路付けしながら、作業中のパイプの高さを確認できます。

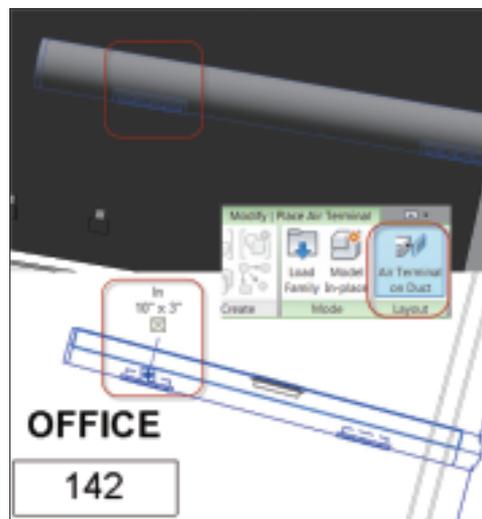
コンセプト デザイン ツール

意匠 構造 設備 施工



Revit は、使いやすいコンセプト デザイン ツールを備えており、クリエイティブなフローをサポートします。自由にスケッチしたり、自由な形式のモデルをより簡単に作成したり、フォームをインタラクティブに操作したりできます。設計やドキュメント作成へよりスムーズに移行できるよう、フォームおよびジオメトリを実際の建築コンポーネントとして定義します。Revit は、設計の過程でパラメトリック フレームワークをフォームに自動構築し、優れたコントロール、正確性、柔軟性を提供します。

ダクトのエア ターミナル



実際の設置を反映させてダクト システムをモデル化できます。ダクトの面に直接グリルや制気口などのエア ターミナル装置を配置 / ホストして空気を伝搬させ、実際の空気の流れをつかめます。

点群の向上 **新機能**

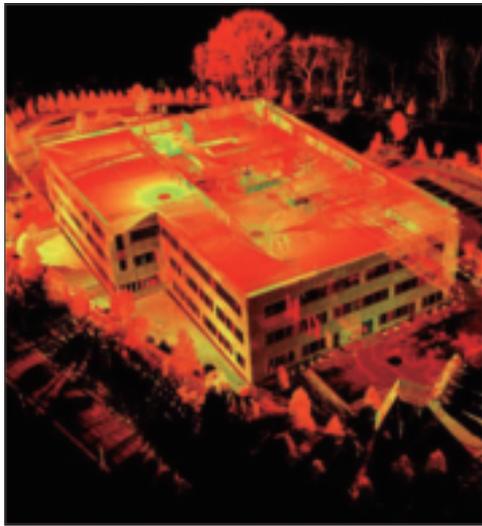
意匠 構造 設備 施工



ビジュアライゼーション用に新しいオプションでグラフィックスの外観と点群のコントロールを向上させることができます。ピクセル密度の増加とポイント サイズ制御の強化による、クオリティの高い画像とパフォーマンス制御を実感してください。新しい点群テクノロジーにより、洗練された変換で未処理のデータをオートデスクのプラットフォームで標準化されている Revit 仕様の点群にします。

点群ツール

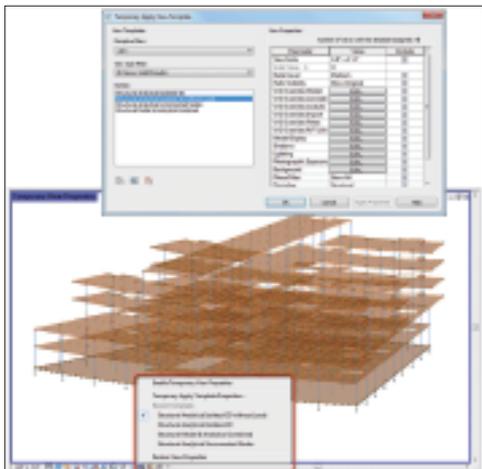
意匠 構造 設備 施工



点群ツールを BIM プロセスに直接利用することで、リノベーション プロジェクトおよび改修プロジェクトの作業をスピードアップできます。Revit 環境内で点群を直接視覚化することで、より確実でより正確な現況モデルを簡単に作成できます。

テンポラリ ビュー テンプレート

意匠 構造 設備 施工

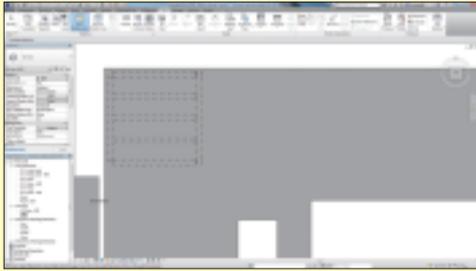


作業ビューを保存して維持する必要性を少なくします。この機能により、保存したビューの状態に影響することなく、ビューのプロパティを変更することができます。

ドキュメント作成

隠線処理の強化 **新機能**

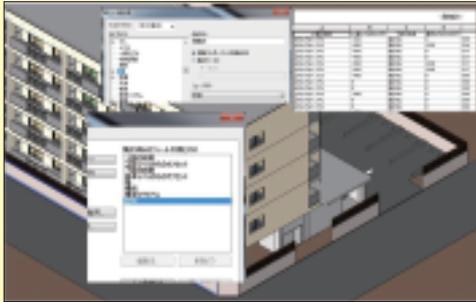
意匠 構造 設備 施工



ビューの隠線の表示設定をコントロールするパラメータ。AutoCAD Structural Detailing および AutoCAD MEP ユーザーは、すべてのビューで隠線の表示をオフにすることができます。ビューに設定されている分野を問わずジオメトリ単独の隠線を表示または非表示できます。ビュー プロパティでは、新しい [隠線を表示する] パラメータを使用して、現在のビューで隠線の表示をコントロールできます。ビュー テンプレートのパラメータを定義します。壁や床の開口部の隠線を簡単に確認できます。3D ビューですべての隠線を自動的に表示してドキュメントを向上できます。

集計表の強化 / 部材積算 **新機能**

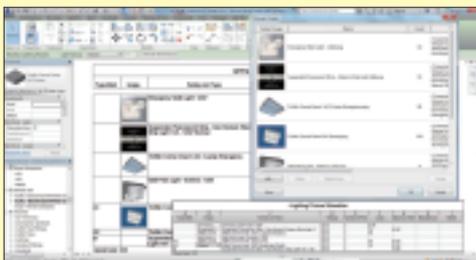
意匠 構造 設備 施工



集計表のパラメータ、フィルタおよび合計の強化。壁のパラメータの下部および上部の拘束が集計表で利用できるようになりました (下部の拘束、下部のオフセット、上部の拘束、上部のオフセット、高さ指定)。これにより、階ごとに壁量を正確に拾い出すことが可能になりました。[カスタムの合計タイトル] フィールドを使用して、合計をカスタマイズできるようになりました。また、集計プロパティのフィルタ オプションが 4 列から 8 列に拡張しました。

集計表のイメージ **新機能**

意匠 構造 設備 施工

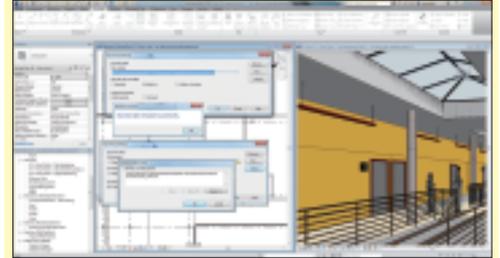


集計表に要素のグラフィカル情報が伝えられるイメージを含めることができます。[イメー

ジ インスタンス] および [タイプ] プロパティが多くの要素に追加され、要素のインスタンスまたはタイプにイメージを関連付けることができます。これらのイメージは集計表に含めることができ、集計表がシートに配置されたときに表示されます。

キーノート作成の設定 **新機能**

意匠 構造 設備 施工



[キーノートの改訂] ダイアログには絶対パス、相対パス、ライブラリの場所の単一パスがあります。ダイアログの簡単化により絶対パス、相対パス、またはライブラリの場所が単一パスになりました。キーノート ファイルの読み込みに問題があった場合にリロードの失敗を通知する新しい警告インジケータがあります。見つからない場合も、キーノート ファイルの最後にロードされたバージョンがドキュメントにロードされ、開いた際にキーノート タグが追加されます。

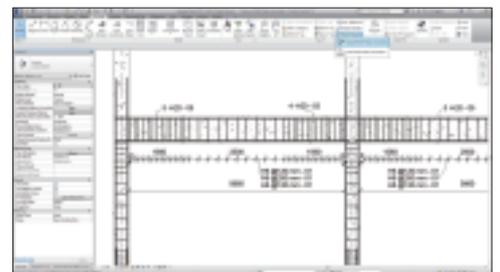
配筋の番号付け **新機能**

構造

鉄筋とモチアミ配筋が、既存の配筋に一致する番号付けシーケンスをもてるようになりました。番号付けにより、集計表とタグに同一の配筋要素を一致させることができます。割り当てられたパーティションで、鉄筋とモチアミ配筋の番号は同じタイプ、サイズ、材料、形状のそれらの要素と一致します。鉄筋またはモチアミ配筋インスタンスの数は、[識別情報] の下の [プロパティ] パレットで表示できます。

複数の鉄筋注釈の強化 **新機能**

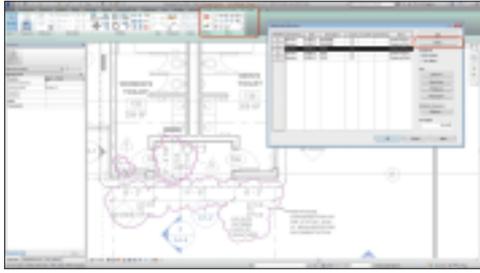
構造



複数の鉄筋注釈が複数の鉄筋セットに適用される際に、グループ化や並べ替えタグまたはセグメントなどの強化が含まれるようになりました。複数の鉄筋注釈は、データ変更を鉄筋セットに反映して更新するようになりました。鉄筋表現の変更も含まれます。

改訂の改善 **新機能**

意匠 **構造** **設備** **施工**



改訂を削除することができるようになり、改訂雲マークのスケッチがしやすくなりました。

改訂を削除すると、改訂および関連するすべての改訂雲マークとタグがモデルから削除されます。線や長方形など標準の描画ツールを使って、改訂雲マークをスケッチできます。スペースキーを押すことで、雲マークの円弧の方向をフリップできます。[シートの発行 / 改訂] ダイアログで、プロジェクトにある改訂雲マークの円弧の最短の長さを指定できます。

タグの改善 **新機能**

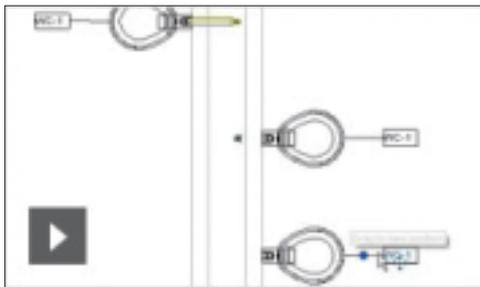
意匠 **構造** **設備** **施工**



タグ付けされた要素を移動するまたはタグの先頭をドラッグする場合、タグ引出線およびエルボは、テキスト引出線に合わせて調整されるようになりました。タグを移動または調整する際に、エルボからタグまでの部分を固定したままで、要素からエルボまでの引出線の部分を柔軟に設定できます。インスタンス プロパティとして [最高高度] が独立基礎、連続基礎および基礎スラブに追加されています。[最高高度] は、基礎の最も高い点または面の高さを指定します。プロジェクトをドキュメント化する際に、タグでこの情報を使用することができます。

タグ配置 / カテゴリ別

意匠 **設備**



機械、電気、給排水コンポーネントを、別の工程でタグ付けするのではなく、配置しながらタグ付けできます。Revit では、オブジェクトのほとんどのカテゴリでタグ配置することができ、生産性が向上し、より効率的な設計作業が行えます。

タップされたダクトと配管のタグ **新機能**

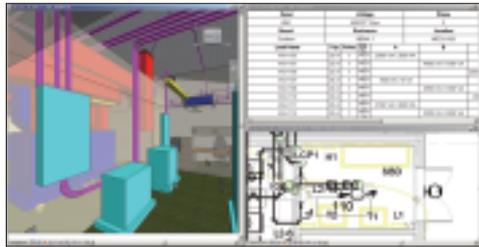
構造 **設備**



長さに違いがあるタップされたダクトや配管の方向に沿って数値のタグを付けることができるようになりました。Revit では、この拡張機能により、[複数の値] というテキストがタグにレポートされ、タグの位置またはその引出線の位置に基づいた実際値を表示します。

パネル集計表

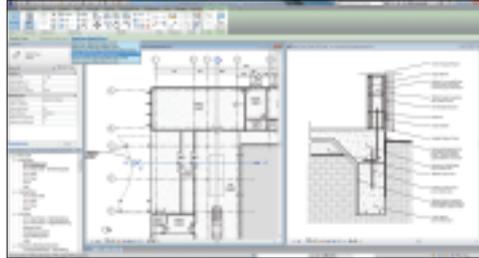
設備



パネル集計表の現在の合計または負荷値を表示して、動的に作業を行い、柔軟性の向上を実感できます。多極スロットを 1 つのセルに集約できます。個別回路の負荷分類の合計を表示できます。

ビュー参照 **新機能**

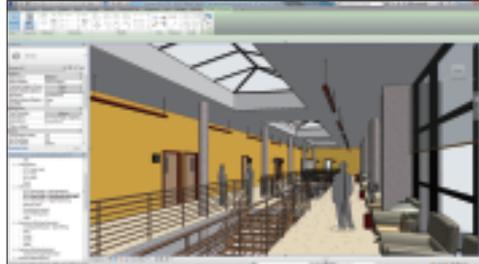
意匠 **構造** **設備** **施工**



ビュー参照が作成された後で参照されるビューを変更する際の機能が向上しました。ビュー参照が作成された後で、参照吹き出し、参照断面、参照立面図のビュー参照を必要に応じて変更できます。

ビューを複製する **新機能**

意匠 **構造** **設備** **施工**

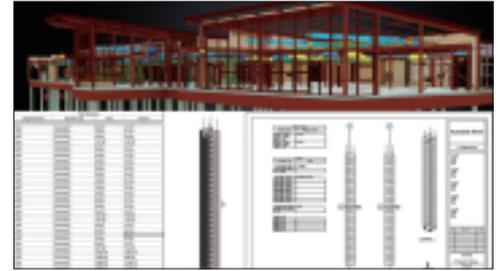


ビューを複製すると、複製元ビューの直下に複製されるようになります。2014 バージョンでは、ビュータイプの最下段に複製されたビューが追加されていましたが、

2015 バージョンでは、複製元のビューの直下に「xx コピー 1」として追加されるので、複製元が判別しやすくなりました。

建設モデリング

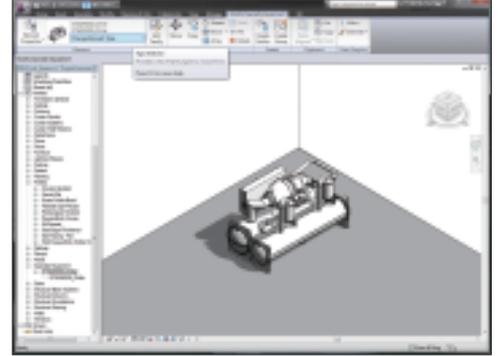
意匠 **構造** **設備** **施工**



モデリング ツールにより、設計モデルからより良い施工のアイデアを引き出すことができます。壁レイヤやコンクリート注入などオブジェクトを分割して操作し、施工方法をより正確に示すことができます。モデル要素のアセンブリを柔軟にドキュメント化する機能で施工図を作成できます。

相互運用性

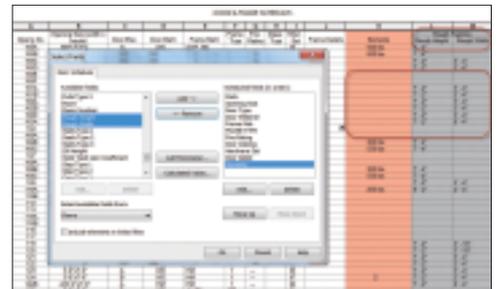
意匠 **設備** **施工**



相互運用性機能により、プロジェクト チームの広範囲なメンバーと効率的に作業できます。重要なメタデータを備えた建物モデルやサイトを土木ソフトウェア AutoCAD Civil 3D に書き込んで、機械設計ソフトウェア Inventor 3D からモデルを読み込むことができます。

集計表の強化

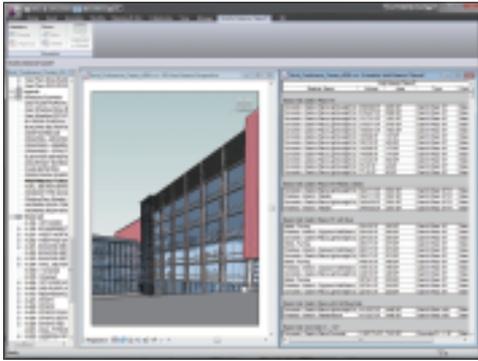
設備



集計表の書式をコントロールが簡略化し、ビルディング インフォメーション モデルのデータを利用しやすくなりました。集計表の強化により、企業内の規格やローカル コードに合わせて集計表の表示を柔軟にコントロールできます。集計表のグラフィックスを追加して、スプレッドシートのような感覚で利用できるようになります。多くのモデル データにアクセスできるようになり、より多くのカテゴリとパラメータが利用できるようになりました。

部材数量の積算

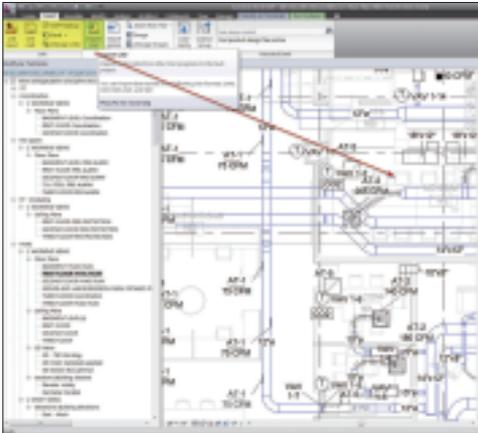
意匠 構造 設備 施工



このツールは、詳細な部材数量を計算し、コスト見積もりの部材数量を確認するのに役立ちます。パラメトリック変更エンジンにより、さらに正確な部材数量の積算が可能になります。

DWG、DWF、DXF および DGN のサポート

意匠 構造 設備 施工



Revit は、DWG™、DXF™、DGN、IFC データなど一般的な形式のデータを読み込み、書き出し、リンクすることができます。これにより、コンサルタントやクライアント、施工会社からのデータを使用した作業が簡単になります。

外部データベースへのインターフェース

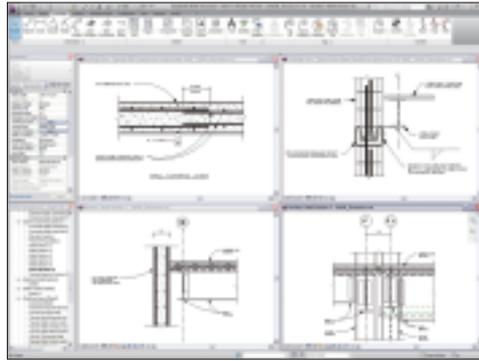
意匠 構造 設備



Revit のモデルデータを任意の ODBC 準拠のデータベースに出力することで、サードパーティ ツールとの接続性が向上します。見積もり、計画、購買、施設管理ツールが含まれています。

構造詳細

構造 施工



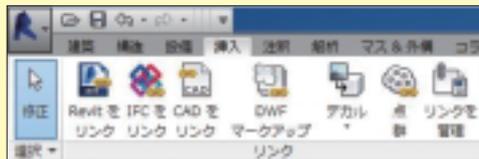
追加注釈付き 3D モデルのビューから構造詳細を作成できるほか、Revit の構造設計向けの 2D 作図ツールでゼロから構造詳細を作成できます。従来の CAD ファイルから詳細を読み込みます。DWG™ 形式で、以前のプロジェクトから標準的な構造詳細のシート全体を読み込みむことで、作業時間を短縮できます。次に示すような鋼構造および鉄筋コンクリートの構造モデルに特化した作図ツールを利用できます。

- 溶接記号
- アンカー ボルト
- 鉄筋
- コンクリートの面配筋

コラボレーション

IFC のリンク **新機能**

意匠 構造 設備 施工



IFC ファイルを既存の Revit プロジェクトにリンクできるようになりました。新しい [IFC をリンク] ツールを使用して、作業中のプロジェクトに IFC ファイルをリンクさせます。後で IFC ファイルを変更してプロジェクトをリロードした場合は、変更内容を反映してプロジェクトが更新されます。リンクされたジオメトリは、関連するパラメータをより忠実に正確な値と単位で Revit の環境に引き渡します。

干渉チェック

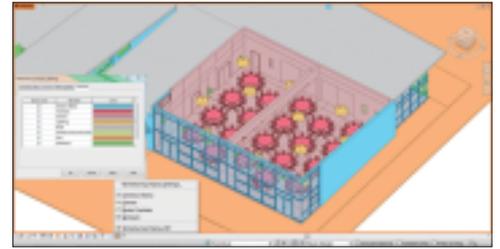
意匠 構造 設備 施工



干渉チェックを使用し、Revit モデルをスキャンして要素間の干渉を確認します。

ワークシェアリング

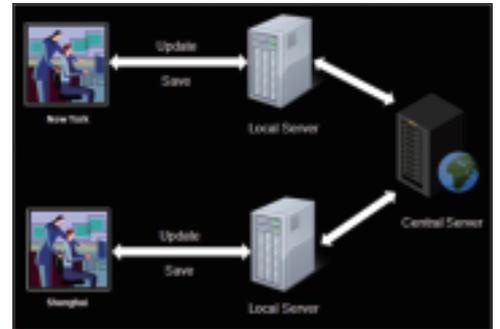
意匠 構造 設備 施工



パラメトリックな建築モデリング環境の強みがプロジェクト チーム全体のワークシェアリングで発揮されます。複数のユーザーが同一のインテリジェントなビルディング インフォメーション モデル (BIM) を共有して、中央ファイルに作業を保存できます。

Revit Server

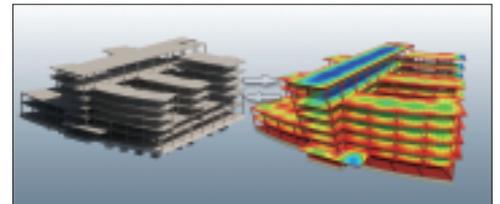
意匠 構造 設備 施工



Revit Server により、広域ネットワーク (WAN) で共有される Revit モデルで異なる場所のプロジェクト チームが簡単に共同作業できます。Revit の機能により、複数のローカル サーバからアクセスできる単一のサーバで、Revit モデルのコレクションを中央で統合して管理できます。ビルトインの冗長性で WAN 接続が失われた場合も保護されます。

双方向リンク、複数解析パッケージ

意匠 構造 設備 施工



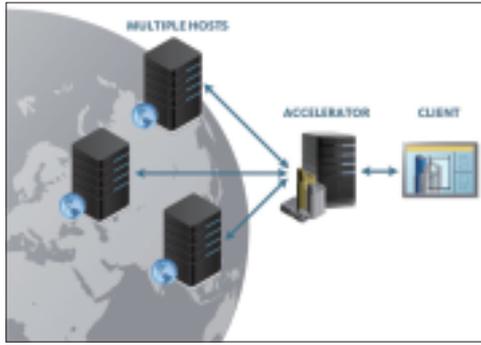
Revit の構造解析モデルは、Robot Structural Analysis Professional と双方向にリンクできます。双方向リンクにより、解析結果が自動的にモデルを更新します。パラメトリック変更テクノロジーは、モデルのビューと構造図を連動して更新します。Revit はサードパーティの構造解析情報や設計プログラムともリンクし、構造解析情報を交換して利用することができます。

共有できる情報の種類:

リリース条件および境界条件
荷重および荷重組み合わせ
マテリアルおよび断面性能

Vault との統合

意匠 構造 設備 施工



Vault Collaboration は Revit と連携して動作するように設計されています。計画から設計、施工(建設)まで、建築、エンジニアリングなどの複数の専門分野にわたるプロジェクトのデータ管理を効率化します。時間を節約し、データの精度を向上させます。

Autodesk 360 の統合

意匠 構造 設備 施工



Maintenance Subscription を契約されている Building Design Suite Premium および Ultimate のお客様は、レンダリング、エネルギー解析など Autodesk 360 の統合機能を利用できます。クラウドに設計を送信することで、ワークフローを妨げずに高品質な高速レンダリングと解析を実行できます。

IFC 認定

意匠 構造 設備 施工



Revit 2015 は、IFC 規格の 2x3 Coordination View 2.0 インポートおよびエクスポートとして buildingSMART Industry に認定されています。Revit 2015 のコンポーネント (Revit Architecture 2015、Revit Structure 2015、Revit MEP 2015) は、IFC 規格の 2x3 Coordination View 2.0 エクスポートとして buildingSMART Industry に認定されています。

解析

構造解析モデルの強化 新機能

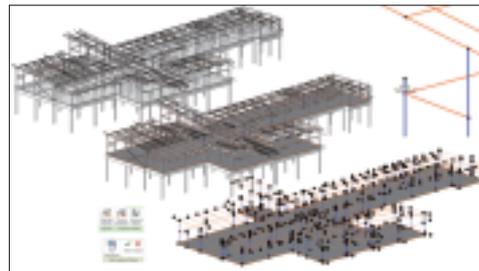
構造



構造解析モデルがいくつかの領域で改善されました。解析モデル カテゴリの表示設定を使用して、構造解析要素を表わすローカル座標系 (LCS) 図形をビューに表示できます。列のローカル座標系(LCS) が梁とプレースのローカル座標系と一致するようになりました。ホストされた荷重および境界条件をホスト ローカル座標系に設定することができます。また、ホスト ローカル座標系に連動してローカル座標系が変更されると回転します。

構造解析モデル

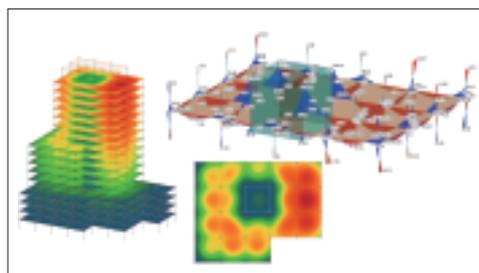
構造



Revit と Revit Structure は、構造エンジニア向けに BIM プロセスをサポートします。Revit は、ドキュメント化に使用する構造モデルと構造解析と設計に使用する関連解析モデルを提供します。解析モデルは、構造モデルの詳細なエンジニアリング説明を単純化された 3D で示すものです。解析モデルは、エンジニアリング システムを形成する構造コンポーネント、ジオメトリ、マテリアル プロパティ、および荷重で構成されています。解析モデルは構造モデルを作成する際に自動で作成され、解析および設計アプリケーションに書き出すことができます。

Structural Analysis for Revit (*)

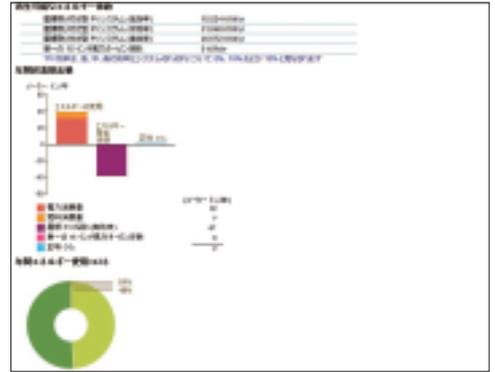
意匠 構造



クラウドからさまざまな建物の静的構造解析を実行できます。同じモデルの異なるバリエーションを簡単に計算します。Maintenance Subscription で利用できる Structural Analysis for Revit で、解析結果を設計初期段階の意思決定に役立てることができます。(*)

Energy Analysis for Revit (*)

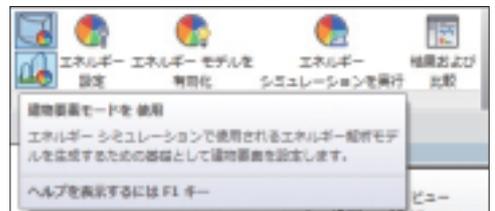
意匠 設備



Revit のエネルギー解析ツールは、設計の初期段階でのサステナブル デザインの決定をサポートします。(*)

建物要素を使用したエネルギー解析 (*)

意匠 構造 設備



詳細な Revit モデルを使用して、エネルギー解析を実行します。(*)

Revit の建物要素から直接、エネルギー解析モデルを自動的に作成し、DOE2.2 を使用するシミュレーション用 Green Building Studio* (英語) に送信します。解析が完了したら、モデリングを繰り返しながらレビューで結果を比較して、設計の決定に情報を役立てることができます。

*Building Design Suite 2015 Premium および Ultimate エディションの Maintenance Subscription のお客様が Subscription 契約期間中(有料)に利用可能

AUTODESK® SUBSCRIPTION



スマート、フレキシブル、
パワフル

Autodesk Subscription (サブスクリプション) の利用で、 業務プロセスを強化できます。

Autodesk Subscriptionが拡張され、Maintenance Subscription、Desktop Subscription、Cloud Service Subscriptionからなる、オートデスクが提供するすべてのSubscriptionサービスに対応するようになりました。

いずれのSubscriptionサービスを選んでも、最新のソフトウェアリリースやサービスの利用、厳選されたAutodesk® 360クラウド サービス、柔軟なライセンス運用、技術サポートといった特典をご利用いただけます。



Maintenance Subscription

特徴と特典

Maintenance Subscriptionは、ソフトウェアやサービスを最新の状態に保ち、オートデスク製品への長期投資を最大限に生かす最もコスト効率の高いサービスです。



最新版ソフトウェアの入手 | 柔軟なライセンス運用 | Autodesk® 360クラウドの特典 | 技術サポート

- 最新版を使用し、常に最新版のソフトウェアをご利用いただけるため、競争力を維持できます。
- 柔軟なライセンス運用で、必要なときに、必要なツールをご利用いただけます。
- Autodesk® 360 Cloudで、モバイル性の向上、コラボレーションの改善、設計の最適化を可能にします。
- 問題を迅速に解決するための技術サポートで生産性を維持します。



Desktop Subscription

特徴と特典

Desktop Subscriptionにご登録いただくと、1ヵ月、3ヵ月、年間プランから選択して、オートデスクのDesign SuiteとCreation Suiteソフトウェアおよび指定の単体ソフトウェア製品を利用できます。



Maintenance Subscriptionと同様のメリット | 初期費用を抑えられる | ライセンスの増減が簡単 | リスクを軽減

- 最新のソフトウェアリリースの入手、必要な Autodesk® 360 Cloud サービス、技術サポートへアクセス。
- 低コストでの導入。ライセンスの初期投資や長期の使用を余儀なくされることなく、経費を調整できます。
- 短期間のプロジェクトや人材ニーズの変化に合わせて拡張や縮小を簡単に行えます。
- リスクの少ない、優れた機能。



Cloud Service Subscription

特徴と特典

Cloud Service Subscriptionを使用すると、デスクトップで行っていた作業をクラウドで行えるようになります。



Maintenance Subscriptionと同様のメリット | 実質無限な演算処理能力 | コラボレーションを単純化 | ワークフローを効率化

- 高度なクラウドコンピューティング能力。デスクトップを占有することなく、高価な専用ハードウェアへの投資を必要とせずに、複雑でリソースに負荷のかかるタスクを実行できます。
- クラウドによる広範なチームとのコラボレーション機能。オフィスからでもモバイル端末からでも、リアルタイムに作業できます。
- 時間や場所を問わないプロジェクトファイルへのアクセス。Webやモバイル端末からアクセスでき、プロジェクトのライフサイクル全体のワークフローを効率化します。
- 最新版のサービスを利用。柔軟なライセンス運用や技術サポートを利用可能。

詳細は、autodesk.co.jp/subscription をご覧ください。

Autodesk® Maintenance Subscription の特典

Maintenance Subscription で競争力を維持

常に最新のソフトウェアと機能を利用できるMaintenance Subscription では、アップグレード費用を抑え、ソフトウェアにかかる費用を計画的に管理することができます。効果的かつ経済的に、常に競争相手の一歩先を行きましょう。

Maintenance または Desktop Subscription のご契約で追加されるサービス (※)	ULTIMATE	PREMIUM	STANDARD
Autodesk® 360 (25GBの追加ストレージ容量)	✓	✓	✓
Autodesk® 360 のレンダリング	✓	✓	✓
Autodesk® Green Building Studio® (英語)	✓	✓	✓
Energy Analysis for Autodesk® Revit®	✓	✓	✓
Structural Analysis for Revit®	✓	✓	✓
Optimization for Inventor®	✓	✓	✓
Autodesk Remoto	✓	✓	✓

(※) Subscription のご契約 (有料) 期間のみ利用可能

自社の長期的な成功を望むのであれば、Maintenance Subscription を契約するべきでしょう。

Ayers Saint Gross 社
アソシエイト プリンシパル
Andrew Watkins 氏

賢い選択で最高の価値を

Maintenance Subscription は、コスト効率よく、ソフトウェアやサービスを最新の状態に保ち、オートデスク製品への長期投資を最大化できます。

オートデスク ソフトウェアの最新リリースをいち早く入手できるので、最新のテクノロジーと時間節約機能を使って生産性を高めることができます。また、1年契約または複数年契約を選択し、期間中にかかる費用をあらかじめ把握することができるため、ソフトウェアにかかる費用を管理しやすくなります。

機能と利点

次の機能と特典があります。

- 最新版がリリースされるとすぐに入手できるので、常に最新の状態を維持し、競争力を維持できる
- 柔軟なライセンス運用により、必要な場面で必要なツールを利用できる
- Autodesk® 360 クラウド特典により、モバイル性とコラボレーションを向上して設計を最適化できる
- 技術サポートを利用して問題を迅速に解決し、生産性を維持できる

最新版および拡張機能の入手

競争で優位に立つ

Maintenance Subscription を契約すると、常に最新かつ最強のツールを利用できるようになります。製品リリースと拡張機能をいち早く入手できるので、年間を通じて競争力を維持できます。また、Maintenance Subscription ではアップグレード費用を抑えながら常に最新のソフトウェアと機能を利用でき、ソフトウェアにかかる費用を計画的に管理することもできます。効果的かつ経済的に、常に競争相手の一歩先を行きましょう。

柔軟なライセンス運用

必要な形態で作業する

社内および社外のチームとのコラボレーションでは、適切なタイミングおよび場所で適切なソフトウェアを使用できるようにしておく必要があります。次のような特徴をもったMaintenance Subscriptionの柔軟なライセンス運用*により、いっそう自由にソフトウェアを使用することができます。

前バージョンのライセンス使用权: 特定のバージョンを使ってプロジェクトを進める必要がある場合があります。前バージョンのライセンス使用权により、デスクトップ ソフトウェアの前バージョンと最新バージョンの両方を使用してプロジェクトを遂行できます。*

自宅使用权 (ホーム ユース): いつもオフィスで作業が発生するとは限りません。自宅使用权により、オフィスでも自宅でもソフトウェアを使用できます。

海外使用权: 出張で遠方に行かなければならない場合でも、海外使用权により、ライセンスの有効なソフトウェアを、購入した国以外の場所**で最大90日間使用できます。

技術サポート オプション

必要なサポートを受ける

Maintenance Subscription では、ニーズと予算に合わせて技術サポート レベルを選択することができます。いずれのオプションでも、インストールおよび環境設定に加えて、お使いのソフトウェアおよびクラウド サービスのトラブルシューティングに関するサポートを受けられます。

ベーシック サポート: Maintenance Subscriptionに付属のベーシック サポートでは、オートデスクのオンライン サポート サービス パッケージを利用できます。

ベーシック サポートの内容は、以下の通りです。

- サポート フォーラム コミュニティ
- 1 対1 のオートデスクWeb サポート
- ヘルプ ドキュメントを備えたオンライン ナレッジベース、チュートリアル、トレーニング ビデオなど、オートデスク オンライン サポートを利用できます。また、オートデスク テクニカルソリューションやサポート フォーラム コミュニティに投稿された質問とその回答を検索することも可能です。

Maintenance Subscription をご契約のお客様はオプションとして、アドバンス サポートやエンタープライズ プライオリティ サポートといったアドオンサービスを購入することも可能です。これらのサービスは、よりすばやく課題を解決したり、生産性を最大化したり、ダウンタイムを最小化するのに役立ちます。

アドバンス サポート: オートデスクのシニア サポートスペシャリストによる1 対1 の電話サポートおよびWeb でのサポートを提供します。アドバンス サポートは、オートデスクのシニア サポートスペシャリストによるグローバルな電話サポート (無制限、優先対応、1 対1 での対応、時間外での対応***)、リモートデスクトップ サポート、Web サポートにおける優先対応オプションなどの特徴があります。

エンタープライズ プライオリティ サポート: オートデスクの大企業様向けプレミアム サポート サービスです。問い合わせ内容に関する最新ステータスの逐次レポート、解決策/ 回避策提供までの目標時間の設定に加え、オートデスク プロダクト サポートにおける最優先対応といった特徴があります。また、このサービスには包括的なプロアクティブサポート プログラム、およびすべての顧客ニーズを直接お聞きするサポート アカウント マネージャーによる支援など、その他のサービスも含まれます。

* Maintenance Subscription 特典には使用条件が適用されます。製品および言語によっては、ご利用いただけないMaintenance Subscription 特典もあります。クラウド サービスへのアクセスにはインターネット接続が必要であり、サービス利用規約に記載されているあらゆる地理的制約を受けます。

** 欧州経済領域/ スイスで購入されたソフトウェアは、欧州経済領域およびスイスで使用することができます。

*** 時間外サポート (平日24 時間) は、3 つの地域の時間帯 (南北アメリカは米国東部、欧州・中東・アフリカはヨーロッパ中央、アジア太平洋地域はシンガポール) を基準に定められており、月曜から金曜日の平日24 時間対応 (当該地域のオートデスク休業日を除く) です。時間外サポートのサポート受付時間は、電話サポートの場合、Web からのサポート リクエストは常時送信可能です。

Autodesk® 360 クラウドの特典

Autodesk 360 でさらに便利に

Maintenance Subscription を購入すると、Autodesk 360で利用できるストレージ容量と機能が増え、柔軟なアクセス、コラボレーションの向上、革新的な設計の高速化により、作業のあり方が大幅に向上されます。また、クラウド サービスも利用できるため、クラウドのほぼ無限の演算処理能力によって設計をより効果的に視覚化および最適化することができます。

コラボレーションの合理化

Autodesk 360 アカウントを利用すれば、Webブラウザやモバイル デバイスを使って第三者に設計を直接表示または編集してもらったり、設計についてコメントしてもらうことができます（設計ソフトウェアは必要ありません）。コラボレーション プロセス全体がクラウド上に記録され、シームレスでよく整理されたワークフローを構築し、より優れた設計を作成することができます。

クラウド ストレージの容量増加

Maintenance Subscription を契約すると、Autodesk 360 アカウントで利用できるストレージ容量が1 シートあたり25GB に増加します。クラウドにファイルを保存すれば、Web やモバイル アプリケーションを通していつでも、どこからでもファイルにアクセスしたり、チームとつながることができます。一元化された360ワークスペースを活用し、常に最も効率の良い場所で作業してください。

安心、安全なクラウド ワークスペース

Autodesk 360 クラウド プラットフォームは、Web サービス専用の安全で信頼性が高く、保護されたインフラストラクチャを利用しています。データおよび認証情報の保護とバックアップが行われるため、安心して作業やコラボレーションを行えます。

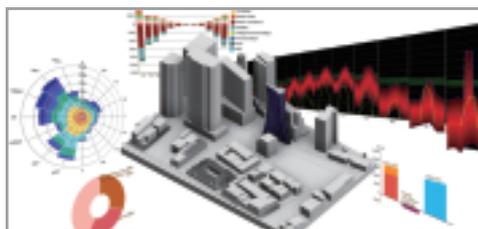
デスクトップからクラウドへとワークフローを拡張

オートデスクの単体製品またはスイート製品のMaintenance Subscription を購入すると、Autodesk 360 の豊富なクラウド サービスおよびクラウド対応ソフトウェアを利用できるようになります。クラウドのほぼ無限の演算機能により、デスクトップに縛られることも高価なハードウェアを購入することもなく、タスクを実行できます。複数の設計案の性能をテストする、ビジュアライゼーションの数を短時間で増やすなど、ワークフローの一部として活用してください。



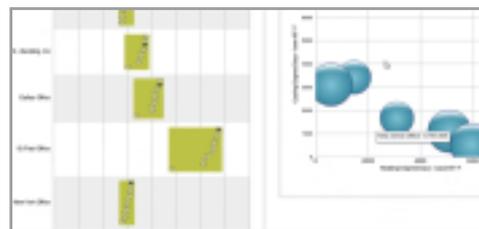
説得力のあるレンダリング

Autodesk 360 でレンダリングすれば、時間とコストをかけることなく、説得力のあるフォトリアリスティックなビジュアライゼーションやパノラマを作成することができます。デスクトップに縛られることもなければ、専用のレンダリング ハードウェアを購入する必要もありません。



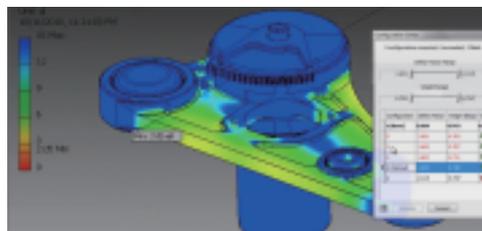
詳細なエネルギー解析

Energy Analysis for Autodesk® Revit® を使用すると、設計の早い段階でエネルギー消費量とライフサイクル コストを把握できます。



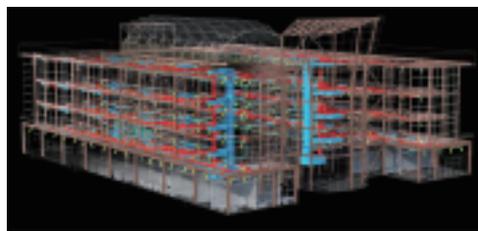
効率の最適化

Web ベースのエネルギー解析ソフトウェアである Autodesk® Green Building Studio® を使用すると、設計プロセスの早い段階で建物全体の解析を行ったり、エネルギー効率を最適化したり、カーボンニュートラルの実現に取り組むことができます。



最適化とコラボレーションの合理化

Optimization for Autodesk® Inventor® を使って複数の製品設計案の性能をテストすることで、デスクトップの枠を超えたコンセプト開発とシミュレーションを行うことができます。



強力な構造解析

Structural Analysis for Autodesk® Revit® を使用すると、より多くの設計案を検討したり、着工前に性能を予測できます。

管理ツール

特典の管理と整理

契約管理者は、Autodesk Subscription センターで以下のレポートおよび管理ツールを使用して、組織のMaintenance Subscription 特典を簡単に管理することができます。

- **カバレッジ レポート:** ソフトウェア ライセンスとシートを追跡および管理できます。契約番号、契約開始日と終了日、グループ名、製品の詳細といった詳しい情報を確認することができます。
- **更新レポート:** 90 日以内に期限が切れる契約に関する更新情報を確認できます。
- **各種ユーザ管理機能とツール:** 特定のMaintenance Subscription 特典にアクセスできるユーザを管理できます。
- **使用レポート:** 特定のクラウド特典を使用する際に消費されたクラウド クレジットを追跡できます。

Building Design Suite と各エディションの機能比較

Building Design Suite の Standard、Premium、Ultimate の 3 つを比較しています。すべてのエディションで建築設計ライフサイクル全体に活用できるコスト効率の高い単一パッケージ ソリューションを提供します。

☁ Maintenance Subscription または Desktop Subscription 付き永くライセンスのご購入で、クラウド サービスをご利用いただけます。

BUILDING DESIGN SUITE 2015 エディション	STANDARD	PREMIUM	ULTIMATE
DWG™ 形式を使用して、設計、ドキュメント作成、共有	✓	✓	✓
説得力のあるイメージとプレゼンテーションを作成	✓	✓	✓
グラフィック コミュニケーションを使用して設計意図を伝達	✓	✓	✓
モデルベースの設計を活用して、より優れたビルを設計		✓	✓
ビジュアライゼーションで、アイデアをより効果的にアピール		✓	✓
統合された解析を情報に基づく決定に利用		✓	✓
整合性のある施工図を作成		✓	✓
プロジェクト成果の管理効率を向上			✓
マテリアルの定量化			✓
建材メーカーやファブリケータとのコラボレーション			✓
製作図面の作成をスピードアップ			✓
クラウドでレンダリング ☁	✓	✓	✓
Green Building Studio ☁	✓	✓	✓
Structural Analysis for Revit ☁		✓	✓
Energy Analysis for Revit ☁		✓	✓
Optimization for Inventor ☁			✓

Building Design Suite と Revit Architecture または AutoCAD の比較

製品	Premium 2015	Revit Architecture 2015	AutoCAD 2015
建築設計とドキュメント作成			
インテリジェントな 3D モデルベースの設計ツール	✓	✓	
一貫性のあるモデルとドキュメント	✓	✓	
CAD ベースおよびビルディング インフォメーション モデリング (BIM) ベースのワークフロー	✓	△ (BIM のみ)	△ (CAD のみ)
点群の表示と編集	✓	✓	✓
プロ仕様の製図およびドキュメント作成ツール	✓		✓
建築業界専用の AutoCAD (AutoCAD Architecture)	✓		
コンセプトualな 現場計画 ツール	✓		
建築シミュレーション			
よりエネルギー効率の高い建物を設計	✓	✓	
数量化ツール	✓		
構造設計のシミュレーション	✓		
Structural Analysis for Revit ☁	✓		
Energy Analysis for Revit ☁	✓		
建築プロジェクトのコラボレーション			
施工モデリング ツール	✓	✓	
リアルタイム ナビゲーション	✓		
意匠設計、機械・電気・配管 (MEP) エンジニアリング、構造エンジニアリング用のビルディング インフォメーション モデリング (BIM) ツール	✓	△ (意匠設計のみ)	
DWG™ ファイルのネイティブ サポート	✓		✓
建築ビジュアライゼーション			
映画品質のレンダリングと 3D アニメーション	✓		
高度なスケジュール機能とビジュアライゼーション機能	✓		
説得力のあるビジュアライゼーションとインタラクティブなプレゼンテーション	✓		
デザイン イラストレーションおよびグラフィック コミュニケーション ツール	✓		
クラウドでレンダリング ☁	✓		
Green Building Studio ☁	✓		

Autodesk Building Design Suite をご利用のお客様の声

当社が Autodesk Revit を導入して BIM の活用を開始したそもそもの狙いは、3次元のビジュアライゼーションの幅広い活用によって社内のコミュニケーションを良くすることにあります。そうすることで、設計と施工という部門の枠を超えて社員同士が互いに理解を深めながら、より良い建物をつくっていこう、という思いが出発点にありました。そしてもう一つ、その流れのなかで重視するようになってきた BIM の働きが「検証」です。



株式会社サイト
建築設計室チーフ
一級建築士
清水麗嘉 氏

今後は、Revit を木造住宅やリフォーム、改修工事などにも活用していく予定です。BIM は仕事を獲得するためのプレゼンテーションで効果を発揮し、その資産を実施設計まで活用する。これが設計事務所におけるフロントローディングのあり方だと思います。もう2次元だけの設計環境には戻れません。



アーキ・キューブ
代表取締役 社長
大石佳知 氏

既存の建物のインテリジェントで豊富なデータに基づくモデルデータを活用することによって、情報を整理し、作業で必要になればすぐにアクセスして必要とする人々に届けることができるようになります。Revit を使用することによって、アセット管理が容易になり、スタッフの生産性を上げ、ビルをよりスマートに運用することができるようになります。

Bronson Healthcare Group
設備計画および開発グループ
エネルギー / 設備コーディネーター
Steve Hyde 氏

将来は、すべてのプロジェクトに BIM を活用する予定です。

私たちにとって、ライフサイクルコストを削減するのに BIM は必要不可欠なのです。

Bronson Healthcare Group
設備計画
および開発マネージャー
Michael DiFranco 氏

Autodesk Building Design Suite 2015 主な動作環境

(2014年5月20日現在 最新の動作環境はWebサイトでご確認ください)

	Standard エディション	Premium エディション	Ultimate エディション
OS	32-bit Microsoft Windows 8 / 8.1 (Enterprise, Pro) 日本語 ⁽¹⁾⁽²⁾⁽⁴⁾ Microsoft Windows 7 (Ultimate, Enterprise, Professional, Home Premium) ⁽⁵⁾⁽⁶⁾⁽⁷⁾ 日本語 ¹⁾ Autodesk Showcase [®] 2015, Autodesk ReCap [™] 2015 および AutoCAD [®] Structural Detailing 2015 はサポート対象外です	⁴⁾ Autodesk InfraWorks [™] 2015, Autodesk Navisworks [®] Manage 2015および Autodesk Robot [™] Structural Analysis Professional 2015 はサポート対象外です ²⁾ Autodesk Navisworks [®] Simulate 2015, Autodesk 3ds Max [®] 2015 および Autodesk Revit [®] 2015はサポート対象外です ³⁾ Autodesk 3ds Max [®] は Microsoft Windows 7 Home Premium はサポート対象外です	
	64-bit Microsoft Windows 8 / 8.1 (Enterprise, Pro) 日本語 Microsoft Windows 7 (Ultimate, Enterprise, Professional, Home Premium) ⁽⁵⁾⁽⁶⁾⁽⁷⁾ 日本語 ⁵⁾ Autodesk Recap 2015 は Microsoft Windows 7 Home Premium はサポート対象外です	⁷⁾ Autodesk InfraWorks 2015 および Autodesk Robot Structural Analysis Professional 2015 は Microsoft Windows 7 Home Premium はサポート対象外です ⁶⁾ Autodesk 3ds Max [®] は Microsoft Windows 7 Home Premium はサポート対象外です	
CPU	32-Bit OS : 3.0GHz 以上で SSE2 テクノロジー対応の Intel Pentium 4 または AMD Athlon デュアルコア 64-Bit OS : AMD Athlon [™] 64 または SSE2 テクノロジー対応の AMD Opteron [™] 、または Intel EM64T と SSE2 テクノロジー対応の Intel Xeon [™] または Intel Pentium 4	Autodesk InfraWorks 2015 : デュアルコア Intel [®] Core [™] M2 または同等の AMD [®] プロセッサ (クアッドコア Intel [®] Core [™] i7, 6 コア Intel [®] Xeon [™] またはそれ以上の出来るだけ高性能のプロセッサ推奨); レイ・トレース・レンダリングを行う場合、SSE 4.1 をサポートする CPU が必須	
メモリ	最小構成 : 2GB 以上 (推奨 : 3GB 以上 (32-bit OS) / 8GB 以上 (64-bit OS)) 特記事項 : AutoCAD Structural Detailing 2015, Autodesk ReCap 2015 および Autodesk Showcase 2015 : 4 GB 以上 (8 GB 以上推奨)	Autodesk Robot Structural Analysis Professional 2015 : 8 GB 以上 Autodesk Inventor [®] 2015 : 12 GB 以上 Autodesk InfraWorks [™] 2015 : 4 GB 以上 (16 GB 以上推奨)	
ビデオ	最小構成 : True Color 対応で 1,024 x 768 表示可能な Windows ディスプレイ アダプタ (1,600 x 1,050 以上推奨) 特記事項 : AutoCAD 2015, AutoCAD Architecture 2015, AutoCAD MEP 2015, AutoCAD Raster Design 2015 および AutoCAD Structural Detailing 2015 で 3次元モデリングを行う場合 : 1280x1024 True Color 対応で 128MB 以上のメモリを搭載し、Pixel Shader 3.0 以降、Direct3D [®] に対応したワークステーションクラスのグラフィックスカードが必要 Autodesk [®] Showcase [®] 2015 : 512MB 以上のメモリ (1GB 推奨) を搭載し、DirectX [®] 9 をサポートする認証済みグラフィックスカードが必要 Autodesk [®] ReCAP をご利用の場合 : OpenGL 3.3 対応で256MB以上のメモリを搭載したグラフィックスカード Autodesk ReCap 2015 : True Color 対応で 1600x1050 表示可能な Windows ディスプレイ アダプタ、256 MB 以上のメモリを搭載した OpenGL [®] 3.3 対応のグラフィックスデバイス オートデスク推奨グラフィックスは以下をご覧ください。 www.autodesk.co.jp/graphics-hardware	Autodesk Inventor 2015 : Microsoft Direct3D 10 に対応したオートデスク推奨グラフィックスカード Autodesk InfraWorks 2015 : 1,280 x 1,024 以上の解像度に対応、8倍のアンチエイリアシング (8x AA) をサポートする2GB 以上のグラフィックスメモリを搭載し DirectX [®] 10.1 対応のグラフィックスカード (最小構成:2倍のアンチエイリアシングをサポート (2x AA) する1GB 以上のグラフィックスメモリを搭載しDirectX 10.1 に対応したグラフィックスカード) 例: デスクトップワークステーション向け : NVIDIA Quadro 5000 または 6000 モバイルワークステーション向け : NVIDIA Quadro 2000M GeForce GT 650M など Autodesk Robot Structural Analysis Professional 2015 : 24-bit カラー対応で、1,280 x 1,024 表示可能なディスプレイアダプタ、Open GL spec 1.4 以降およびDirectX 9 以降をサポートする専用ビデオカード	
ディスク空き容量	15GB 以上	35GB以上	50GB以上
周辺機器	マイクロソフト社製マウスまたは互換製品 (3ボタンマウス推奨)		
インストールメディア	USB 2.0 からインストール、またはインターネット経由でのダウンロード		
ソフトウェア	Microsoft [®] Internet Explorer 9.0以降	Autodesk [®] InfraWorks [®] 2015 : Google [™] Chrome [™] または Firefox [®] web ブラウザ Autodesk [®] Inventor [®] 2015 : Adobe Flash Player 10 以降、Microsoft Excel2010 または 2013 (iFeatures, iParts, iAssemblies, thread customization, spreadsheet-driven design をご利用の場合) Autodesk Robot Structural Analysis Professional 2015 : Robot [™] Extension Spreadsheet Calculator をご利用の場合、32-Bit 版の Microsoft [®] Office Excel [®] 2007 または2010が必要	
ネットワーク	ライセンス登録、必須コンポーネントのダウンロード、Subscription 対応機能の利用、ユーザ向け全ドキュメントの取得等にインターネット接続が必要		

購入先

Autodesk Building Design Suite、Subscription、その他のオートデスク製品は、下記にてご購入ください。

オートデスク認定販売パートナー
www.autodesk.co.jp/reseller

オートデスク オンラインストア
www.autodesk.co.jp/estore

Autodesk Building Design Suite に関する詳細

www.autodesk.co.jp/buildingdesignsuite



オートデスク株式会社 www.autodesk.co.jp

〒104-6024 東京都中央区晴海 1-8-10 晴海アイランドトリートメント オフィスタワー X 24F
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 3-5-36 新大阪トラストタワー 3F

Autodesk, ATC, AutoCAD, Showcase, SketchBook, Revit, 3ds Max, Navisworks, Inventor は、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。該当製品およびサービスの提供、機能および価格は、予告なく変更される可能性がありますので予めご了承ください。また、本書には誤植または図表の誤りを含む可能性があります、これに対して当社では責任を負いませんので予めご了承ください。

© 2014 Autodesk, Inc. All rights reserved.

オートデスク認定販売パートナー

株式会社 大塚商会
<http://www.otsuka-shokai.co.jp/>

CADプロモーション部 03 (3514) 7815
建設プロモーション課

営業時間 / 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日を除く)
本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4
関西支社・札幌・仙台・宇都宮・中部・京都・神戸・広島・九州